ジオ波とは電磁波の一種で、収束されると高熱を出す性質を利用した治療法です。

②カテーテル治療

がん細胞を養っている動脈にカテーテルを入れ、抗がん剤や詰め物を入れてがんを殺そうとする治療法です。抗がん剤の全身投与よりがんに直接作用しますので、副作用が少なく効果的です。

③休眠化学療法

抗がん剤を普通の使用量の半分程度まで減らして使用します。副作用も少なく、がんを半分に小さくするという本来の目的でなく、進行停止（休眠状態）にすることが目的です。抗がん剤で元気な人が命を逆に縮めることがよくあります。体力が落ちている人には、考えてもよい治療だと思われます。

また、**最先端のがん治療で保険のきかない治療法**としては次のようなものがあります。

①高濃度ビタミンC点滴療法

地域の人たちの健康維持のため、健診にも注力する村上院長

抗酸化物としてのビタミンCを多量に点滴をしてがんを殺す治療です。副作用もほとんどなく、ほとんどの患者さんに使用できます。

②免疫療法

抗酸化力が低下してDNA損傷によりがん細胞が発生しますが、健康な人でも毎月3000～5000個のがん細胞が発生すると言われています。このがん細胞を消去するのが免疫細胞です。免疫力とはこの免疫細胞の数と活性です。免疫力が低下しているとがんを消去できず、がん細胞がどんどん増加していきます。ですから　免疫力を上げるために広義の免疫療法としてライフスタイルの改善、漢方薬、サプリメントの使用があります。また、狭義の免疫療法としては細胞免疫療法（NK細胞療法）、ワクチン療法などがあります。

③温熱療法

がん細胞が42℃以上の高熱に弱いという点を利用してがん細胞そのものを加温してがんを殺す治療法です。42℃の高温にすることができなくても、マイルド加温といって、熱ショック蛋白や、免疫力を増す作用もあり、副作用がなく安全な治療法です。本院ではスペイン製のマシンを使用しています。もともと電気メスを応用したもので、時にがんの縮小例があります。

動脈の狭窄・閉塞、動脈硬化のスクリーニングの装置、超音波画像診断装置も完備されている

④粒子線治療

先進がん治療として、粒子線治療があります。がん保険でテレビなどでよく知られている治療です。放射線治療と違いブラッドピークと言って体の奥のがんに対してだけ照射しますので体のダメージがかなり少なく、また効果も素晴らしいものです。ただ高額なのが欠点です。

次に**補完・代替医療といわれているもの**で、一般的でどんな人でも自分に合った治療法が選択できます。体に効果のあるものと、精神的に効果のあるものと2種類があります。

効果的に気力、体力、免疫力を向上させて人間本来の治癒力を増してがんを叩く、ごく当たり前ですけど一番大事なものであると思います。

まず**体に良いもの**です。

①食事療法

抗酸化物質を多く含む食事、免疫力を高める食事が中心です。いろいろな食事療法の本が出ていますが、私は済陽高穂（さいようたかほ）先生が書かれた本が実用的だと思います。

②サプリメント

まず抗酸化物質のビタミンCとビタミンEは必要です。体に不足しがちな総合ビタミン、ミネラルも体力向上には必要です。また、免疫力向上にキノコ糸も効果があるようです。

③運動、温熱、鍼灸マッサージ

散歩をして足が弱らないように、また気分転換で食欲も増します。温泉、入浴で温熱効果もあり、また免疫力も向上します。

鍼灸、マッサージにて痛みもやわらぎ、リラックスすることで免疫力も向上します。

次に**精神的に効果のあるもの**です。効果的に気力、免疫力が向上します。

①気功、ヨガ、マッサージ

気分もやわらぎ精神的ストレスもとれ、免疫力も向上します。

②笑い

笑うことで脳にエンドルフィンが発生し、免疫力が向上します。笑えなくても鏡を見て笑顔をつくるだけでも効果的です。

③睡眠、催眠療法

ぐっすり眠るだけで、体力、免疫力が向上します。良い睡眠＝重要な治療法です。

院長が実践する医療を支えるスタッフの皆さん

アンチエイジング医学の重要性を広めたい

――先生が実践されている超高濃度ビタミンC点滴療法について、詳しく教えてください。

村上　アメリカのカンザス州にある施設では1975年よりこの治療をしていて、年間約3000人の患者さんが超高濃度ビタミンC点滴療法をされています。ですから、アメリカでは古くから実績のある治療法なのです。

2005年9月、世界的に有名なアメリカの国立衛生研究所（NIH）、国立がんセンター（NCI）、食品医薬品局（FDA）の科学者たちが「高濃度ビタミンCががん細胞だけを殺す」という衝撃的な発表をしました。アメリカのがん治療で権威のある施設のスタッフにより医学的根拠が認められたのです。だから、世間で言われている民間療法とはまったくレベルが違います。

この治療は通常の抗がん剤と違い副作用のないのが特徴です。ビタミンCを大量に点滴することによりがん細胞内に過酸化水素を発生させ、がん細胞を殺します。しかし、正常細胞はがん細胞と違い大量の過酸化水素を消去できるので副作用がまったくありません。

このようにがんに対して選択的に攻撃力が高く、安全な治療です。この治療法は、ほとんどのがんの患者さんに対して効果が見られます。まず、QOL（生活の質）が良くなりますが、食欲が増したり、痛みが軽くなったり、気力、体力も増して元気になります。また、抗がん剤、放射線治療の副作用を軽減しますので、標準治療の効果も確実に増します。

本院でも超高濃度ビタミンC点滴療法を始めてから、多数の驚くような効果の症例があります。プラスはあってもマイナスのない非常に良い治療法です。

――また、アンチエイジング医学とは、どのようなものなのでしょうか？

村上　いつまでも若く健康で長生きするための予防医学がアンチエイジング（抗加齢）医学です。これからの医療は、病気を治すこと……から病気にかからないように予防することなのです。

病気（いろいろな病気、究極はがん）にかからないようにすることは、ずばり抗酸化力と免疫力をつけることです。アンチエイジング医学は「加齢に焦点をあてた究極の予防医学」なのです。

実際には、まず現在の体内年齢をチェックし、その対策を立てます。また、老化危険因子をチェックし、対策、指導します。

具体的に、次のような順で行います。

①体内年齢をチェック

（血管年齢、脳年齢、骨年齢など）

②老化危険因子をチェック

（免疫機能、抗酸化力、心身ストレス、生活習慣、酸化ストレスなど）

③アンチエイジング医学の実際

a、加齢により不足のものを補う

【抗酸化力】活性酸素を除去する抗酸化物質（サプリメント、食事）と活性酸素を増やさないようにする対策指導。

【免疫力】免疫力を上げるものの摂取（食事、サプリメント）と生活指導。

b、病気にならないための生活指導

体内年齢・老化危険因子のデータより病気にならないための生活指導（サプリメント、運動、食事、生活習慣）をして老化を予防します。

――最後に、がん患者さんやその家族にメッセージをください。

村上　「あきらめないがん治療」を目指しています。必ず良くなる方法があるはずです。標準治療だけで治らなかったら治療法はないというのはおかしいと思います。

がんはもともと自分の体から発生したものですから、うまいことコントロールさえすれば必ず治ると思います。

統合医療のことを研究していると、がんの治療にはいろいろな治療法があることがわかります。きっと自分に合った方法があるはずです。絶対にあきらめてはだめです。超高濃度ビタミンC点滴だけでも素晴らしい効果があるのですから、私はもっともっと研究し、ベストの治療法を研究し続けます。

アンチエイジング医学も素晴らしい学問です。病気にならないためにどうしたらよいかを研究していますと、がんの予防、再発予防になります。アンチエイジング医学を、がんになる前にもっとわかっていただけるように努力したいと思っています。

●医療法人貴正会
村上内科医院
京都府京都市山科区四ノ宮垣ノ内町1
TEL：075-501-2551
FAX：075-594-7806
http://www.murakaminaika.com